

研究のためカルテの情報を使用させて頂いています

## ◎対象となる患者さん: 胃癌に対する治癒切除を受けられた方

### 1、研究の題名 『(DELICATE study (Duodenal stump leakage after gastrectomy for gastric cancer: a multicenter retrospective study)胃癌術後十二指腸断端縫合不全に関する多施設調査』

研究代表者: 研究代表者: 群馬大学大学院総合外科学 消化管外科学 教授 佐伯 浩司

研究期間 : 2022 年 3 月 9 日 ~ 2025 年 3 月 31 日

### 2、研究の目的

十二指腸断端縫合不全は胃癌術後合併症の一つです。頻度としては発症率 1.0-2.5%程度と低いものの、一度発症すると重篤化して命にかかわる状態となることがあります。本研究は、このような頻度の低い胃癌術後十二指腸断端縫合不全に対し多施設調査を行うことで、その予防や診断・治療の向上に役立てたいと考えております。

### 3、以下の期間に上記(組織学的に胃癌と診断され根治手術を行った方)を満たした方が対象です

対象期間 : 2012 年 1 月 1 日 ~ 2021 年 12 月 31 日

### 4、本研究で使用する情報について

本研究に関して診療記録から 以下の情報を取得します。

#### 【調査対象者基本情報】

性別、手術時年齢、主占居部位、組織型(Lauren)、術前化学療法有無、アプローチ法、郭清範囲、病理学的壁深達度、病理学的リンパ節転移、遠位側断端、十二指腸断端切離法/埋没縫合有無

#### 【基本情報(追加調査項目)】

手術日、身長、体重、喫煙歴、既往歴/併存疾患、術前血液検査データ、術式、手術時間、出血量、十二指腸断端縫合不全以外の術後合併症

#### 【十二指腸断端縫合不全の詳細】

発症日、ドレーン排液詳細、再手術有無、再手術回数、再手術内容、発症後栄養療法、オクトレオチド投与有無、転帰、最終生存確認日

### 5、取得情報の利用範囲

研究代表者: 群馬大学大学院総合外科学 消化管外科学 教授 佐伯 浩司

### 6、本研究の責任者

この研究の責任者は以下の者です。研究の成果を学会や論文等で発表する際には名前等を番号や記号に置き換え個人が特定できない様に行います。また、この研究に

あたり個人情報の漏洩等がないよう取得した情報等を管理し、患者さんに不利益がない様責任を持ちます。

研究代表者: 群馬大学大学院総合外科学 消化管外科学 教授 佐伯 浩司  
連絡先: 027-220-8224

## 7、対象となる患者さんまたはそのご家族等の方へ

この研究にあなたの情報が使用されることを希望されない場合や疑問点などがありましたら、ご遠慮なく下記連絡先までご連絡ください。お申し出頂いても、不利益を被ることは一切ございません。どうぞ、ご安心ください。

また、この研究の計画書を研究に支障のない範囲で閲覧することができます。その場合も下記連絡先までご連絡下さい。

研究代表者: 群馬大学大学院総合外科学 消化管外科学 教授 佐伯 浩司  
連絡先: 027-220-8224  
当院研究責任者: 飯塚病院 消化管・内視鏡外科 部長 古賀 聡  
連絡先: 0948-22-3800